



所沢市立北小学校 学校だより

令和4年12月1日

はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

言葉を意識して

校長 関根 祐一

月ごとのカレンダーも1枚を残すのみとなりました。校庭の木々もすっかり装いを変え、いよいよの冬本番、年末を感じます。

先月の11日には、3年ぶりに開催された市内親善音楽会に5年生が学校を代表して参加しました。5年生の子供たちは、北小学校の代表にふさわしい立派な態度・姿勢で会に臨み、とてもきれいな歌声、素晴らしいハーモニーを市民文化センター「ミューズ」の大ホールに響かせました。ご家庭のご支援・ご協力に感謝申し上げます。また、向陽中学校さんには、広い場所で練習ができるようにと体育館をお貸しくださり、誠にありがとうございました。10月には6年生が3校親善体育大会に出場し、本日12月1日は、みどり学級も清進小学校と合同で交流会を開催しました。学校の枠を超えた交流は、多くのことを学び、経験できる大変貴重な機会であることをあらためて感じています。子供たちにとっても大変よい思い出になったものと思います。

さて、大変残念なことに、私たちの身近なところで「うざい」「きもい」・・・等、全て受け入れない、全てを否定するようにも受け取れる酷い言葉を日常的に聞いたり、あるいはインターネット上等で見たりします。相手や周囲のことを考えず、軽々しく刺々しい言葉を使い合い、刺々しい関係性の中で傷つき、自信と自己を表現する意欲を失う人が増えていく。何とかしていかなければいけない負の構図です。我々大人が範を示し、子供がそんな言葉を使っていたときにはしっかり指導していけるようにしたいものです。

一方、どうでしょうか、自戒を込めて申し上げれば、私たち大人も刺々しい言葉を使っていることはないでしょうか。あるいは、子どもたちに向けて、自主性や個性の輝きに陰を落とすような言葉をかけているようなことはないでしょうか。以前読んだ本の中の「思考が言葉を変えるように、言葉もまた思考や行動を変えていく。」「いい言葉には、自然といい言葉が返ってくる。」という一節を思い出します。安心して自分が自分でいられる、支え合う関係性を作り上げていける温かい言葉を使い合いたいと思うのです。

今月4日（日）から10日（土）は、人権週間です。この機会に、日頃使っている言葉の一つ一つを確かめることができるとよいのではないのでしょうか。

先月末からの授業参観・懇談会でも、保護者の皆様には大変お世話になっております。共通理解、連携の大切な機会として、二学期のまとめ、そして三学期の学校生活に活かしてまいります。今月も、ご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

11月12日（土）・13日（日）
新所沢地区文化祭（会場：新所沢
まちづくりセンター）で本校児童
の作品が展示されました。

